



2023年3月期第2四半期決算の概要

2022年11月8日
東レ株式会社

目次

I . 2023年3月期第2四半期決算の概要	2
II . 2023年3月期連結業績見通し	17
III . 参考資料	21

I . 2023年3月期第2四半期決算の概要

2023年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	22年3月期 第2四半期 (7~9月)	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	5,493	6,559	+1,066 (+19.4%)	10,630	12,618	+1,988 (+18.7%)
事業利益	341	273	-68 (-19.8%)	702	544	-158 (-22.5%)
(売上収益事業利益率)	6.2%	4.2%	-2.0 ポイント	6.6%	4.3%	-2.3 ポイント
非経常項目	▲ 10	▲ 44	-34	▲ 12	194	+206
金融収益及び費用	▲ 3	▲ 6	-3	5	16	+11
持分法による投資利益	74	54	-20	117	95	-22
税引前利益	403	278	-125 (-31.1%)	812	850	+38 (+4.6%)
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	312	192	-120 (-38.5%)	609	591	-18 (-3.0%)

為替レート		(22/3 2Q)	(23/3 2Q)	(22/3 2Q累計)	(23/3 2Q累計)
<円/US\$>	期中平均	110.1	138.4	109.8	134.0
	期末	111.9	144.8		
<円/ユーロ>	期中平均	129.8	139.3	130.9	138.7
	期末	129.9	142.3		

非経常項目

億円

	22年3月期 第2四半期 (7~9月)	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
固定資産売却益	1	1	-0	5	2	-3
子会社の支配喪失に伴う利益*1	-	-	-	-	251	+251
固定資産処分損	▲ 8	▲ 9	-1	▲ 14	▲ 14	-0
減損損失	▲ 3	▲ 2	+1	▲ 3	▲ 11	-8
製品保証費用*2	-	▲ 35	-35	-	▲ 35	-35
その他	-	0	+0	-	0	+0
非経常項目	▲ 10	▲ 44	-34	▲ 12	194	+206

*1 ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社 Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合併会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立したことによる投資の再評価益。

*2 「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性があるものについて、その交換、補修等のために今後必要と見込まれる費用。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	22年3月末	22年9月末	増減
資産合計	30,439	33,209	+2,770
流動資産	13,732	15,080	+1,347
有形固定資産	9,907	10,236	+329
その他	6,799	7,893	+1,094
負債合計	15,442	16,608	+1,166
流動負債	7,411	8,343	+932
非流動負債	8,032	8,266	+234
資本合計	14,996	16,601	+1,605
自己資本*	14,056	15,620	+1,564
自己資本比率*	46.2%	47.0%	+0.9ポイント
有利子負債残高	9,357	10,146	+789
D/Eレシオ	0.67	0.65	-0.02

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	594	199	-396
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 100	▲ 478	-378
フリー・キャッシュ・フロー	494	▲ 280	-773

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

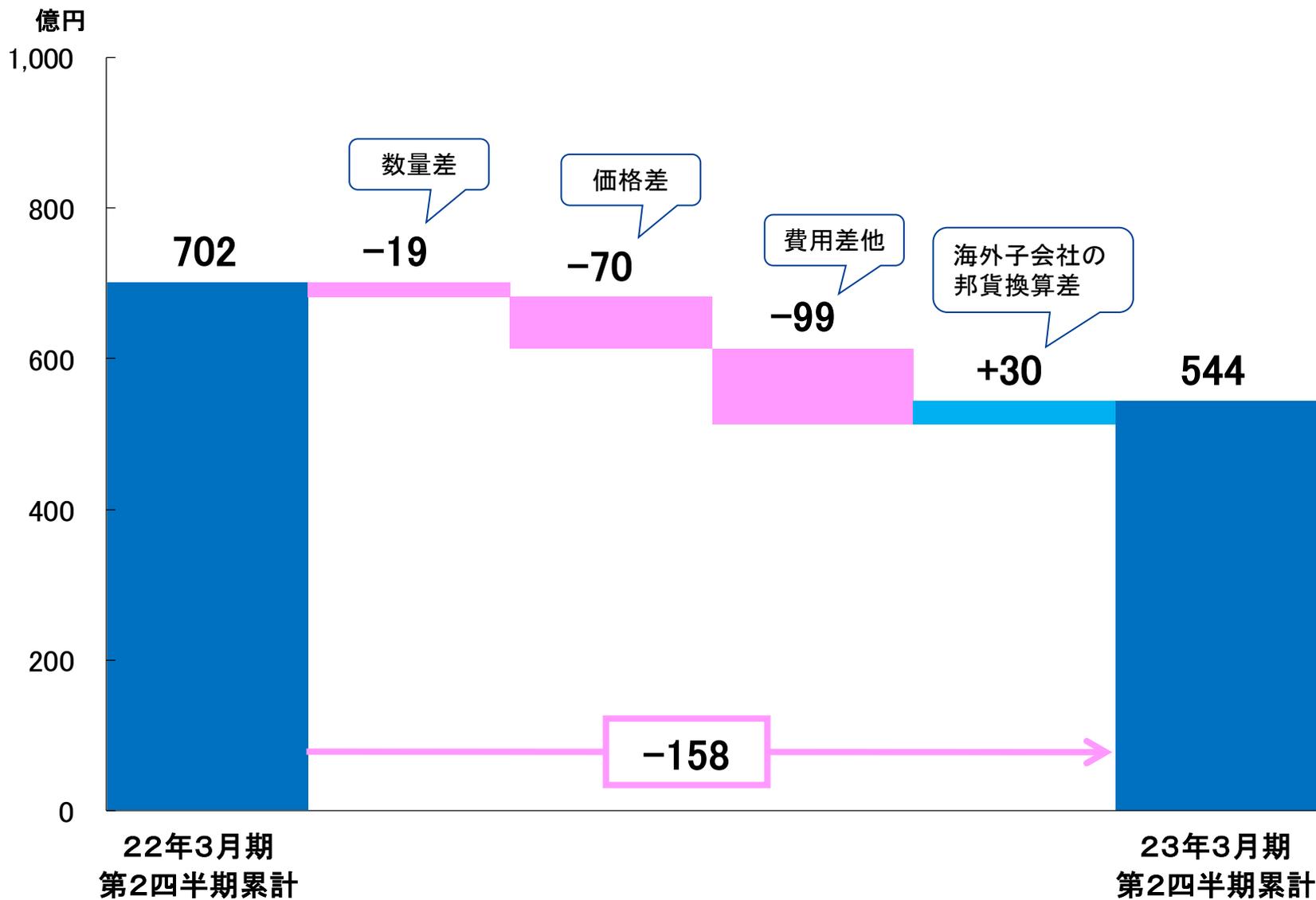
	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
設備投資額	409	424	+15
東レ	100	122	+22
連結子会社	309	302	-6
減価償却費	611	649	+38
東レ	196	175	-21
連結子会社	416	474	+58
研究開発費	296	330	+34
東レ	219	237	+18
連結子会社	77	93	+15

主な設備投資案件

Zoltek Companies, Inc.

: 炭素繊維生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

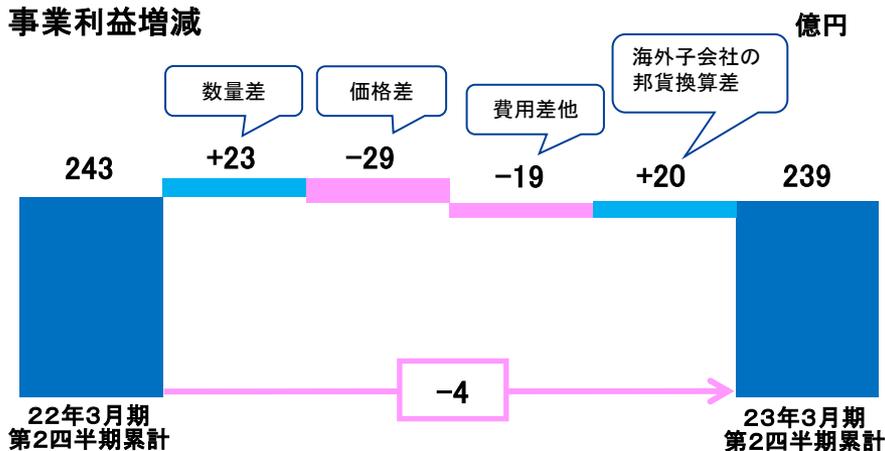
		22年3月期 第2四半期 (7~9月)	23年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	繊維	2,174	2,832	+659 (+30.3%)	4,015	5,090	+1,075 (+26.8%)
	機能化成品	2,219	2,283	+64 (+2.9%)	4,445	4,733	+288 (+6.5%)
	炭素繊維複合材料	504	714	+210 (+41.6%)	989	1,400	+410 (+41.5%)
	環境・エンジニアリング	422	553	+131 (+31.1%)	859	1,061	+202 (+23.5%)
	ライフサイエンス	136	136	-1 (-0.6%)	251	259	+8 (+3.1%)
	その他	38	41	+3 (+8.1%)	70	75	+5 (+7.2%)
	合計	5,493	6,559	+1,066 (+19.4%)	10,630	12,618	+1,988 (+18.7%)
事業利益	繊維	126	152	+26 (+20.9%)	243	239	-4 (-1.8%)
	機能化成品	243	82	-161 (-66.3%)	522	251	-272 (-52.0%)
	炭素繊維複合材料	▲ 16	32	+47 (-)	▲ 36	56	+92 (-)
	環境・エンジニアリング	27	48	+21 (+78.5%)	61	83	+22 (+35.8%)
	ライフサイエンス	9	3	-7 (-73.2%)	11	3	-8 (-69.0%)
	その他	5	7	+1 (+21.4%)	7	10	+3 (+38.6%)
	調整額	▲ 54	▲ 50	+5	▲ 107	▲ 98	+9
	合計	341	273	-68 (-19.8%)	702	544	-158 (-22.5%)

セグメント別業績(繊維)

億円

		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上 収益	東レ	857	1,047	+189 (+22.1%)
	国内	2,024	2,521	+497 (+24.6%)
	海外	2,683	3,533	+850 (+31.7%)
	修正	▲ 1,549	▲ 2,010	-461
	計	4,015	5,090	+1,075 (+26.8%)
事業 利益	東レ	61	83	+22 (+36.3%)
	国内	53	45	-8 (-14.9%)
	海外	148	117	-31 (-20.8%)
	修正	▲ 18	▲ 6	+12
	計	243	239	-4 (-1.8%)

事業利益増減



< 概況 >

■全般

ほぼ全ての用途・地域において、原燃料価格及び運輸費高騰の影響を受けた。衣料用途は、コロナ禍からの回復が見られたが、衛材用途は需給バランス悪化の影響で低調に推移した。産業用途は自動車生産台数の回復遅れにより需要が伸び悩んだ。

<トピックス>

・ 22年9月:

親水性が長時間継続する、肌にやさしいスパンボンド不織布を開発。通水を繰り返しても親水性が低下しないという特長を有しているため、紙オムツやマスク、生理用品など、直接肌に触れる用途に好適。量産体制を構築した上で、本格的な生産を開始予定。

・ 22年9月:

自動車の車体内の空間から発生する走行騒音・共振音・外部流入音などを防止する、極細吸音材“Airlite™”(エアライト)の生産設備をチェコ拠点Toray Textiles Central Europeに新設。年産約1,200トンの設備を導入し、10月から量産を開始。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	1,285	1,319	+34 (+2.6%)
	国内	2,365	2,774	+409 (+17.3%)
	海外	3,020	2,928	-92 (-3.1%)
	修正	▲ 2,226	▲ 2,289	-63
	計	4,445	4,733	+288 (+6.5%)
事業利益	東レ	150	93	-57 (-37.8%)
	国内	107	123	+16 (+14.8%)
	海外	266	27	-239 (-89.8%)
	修正	▲ 1	8	+8
	計	522	251	-272 (-52.0%)

< 概況 >

■全般

原燃料価格高騰の影響を受けた。

■樹脂事業

国内自動車生産の回復の遅れや中国市場の需要減少の影響により低調となった。

■ケミカル事業

ファインケミカルが好調に推移。

■フィルム事業

ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連の在庫調整の影響を受けた。

■電子情報材料事業

有機EL関連材料、回路材料の需要が減少。

<トピックス>

・22年8月:

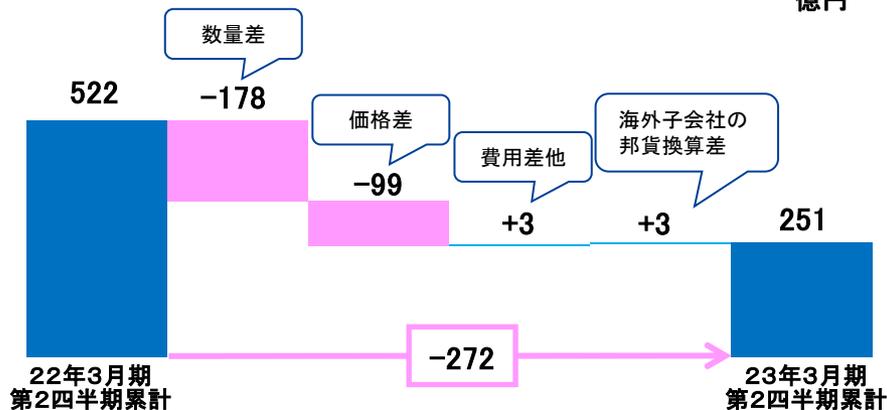
食品包装用高ガスバリア性蒸着・二軸延伸ポリプロピレン(OPP)フィルム「トレファン®」を開発。一般的なOPPフィルム比3倍以上の高いバリア性を有するため、高いリサイクル適性を備えたポリプロピレン(PP)単一素材構成の高ガスバリア食品包装を可能とし、包装材料の製造・使用・再原料化のリサイクルループを拡大、CO₂削減に貢献。

・22年9月:

シンガポールに「東レシンガポール研究センター」を開所。アセアン地域におけるエレクトロニクス材料分野の研究・技術開発拠点と位置付け、日本・韓国・中国の各研究拠点と連携して、グローバル研究開発を強化していく。

事業利益増減

億円



機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	2,089	31%	2,123	30%	+2%
フィルム	1,663	25%	1,702	24%	+2%
電子情報材料	386	6%	289	4%	-25%
商事他	2,533	38%	2,907	41%	+15%
修正	▲ 2,226	-	▲ 2,289	-	-
合計	4,445		4,733		+6%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	325	417	+91 (+28.0%)
	国内	242	332	+90 (+37.3%)
	海外	872	1,297	+425 (+48.7%)
	修正	▲ 450	▲ 646	-196
	計	989	1,400	+410 (+41.5%)
事業利益	東レ	▲ 8	54	+62 (-)
	国内	4	7	+3 (+75.9%)
	海外	▲ 13	27	+40 (-)
	修正	▲ 19	▲ 31	-13
	計	▲ 36	56	+92 (-)

< 概況 >

■全般

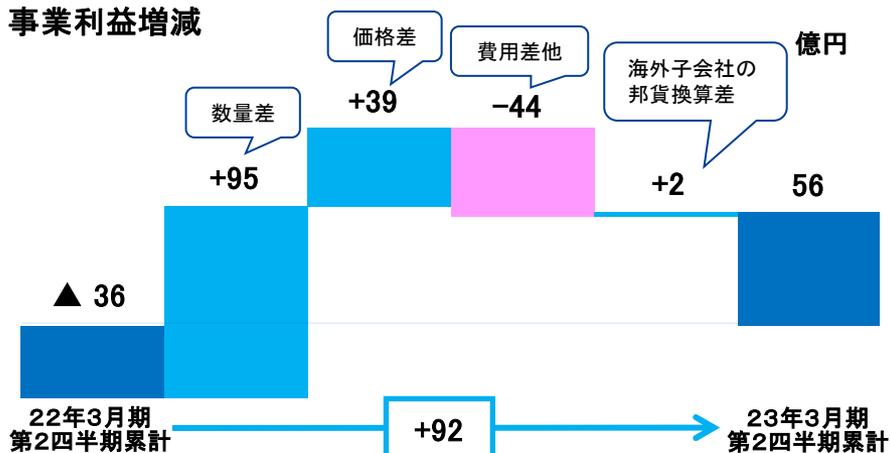
原燃料価格上昇の影響、及び航空宇宙用途で民間旅客機のビルドレート低調の影響を受けたが、一般産業用途において風力発電翼用途や圧力容器用途が拡大したほか、スポーツ用途が伸長。また、価格転嫁を推進。

<トピックス>

- ・ 22年7月：
第35回独創性を拓く先端技術大賞において、「超軽量革新複合材料“CFRF*”の研究開発」の取り組みが評価され、「産経新聞社賞」を受賞。

*CFRF: Carbon Fiber Reinforced Foam

事業利益増減



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

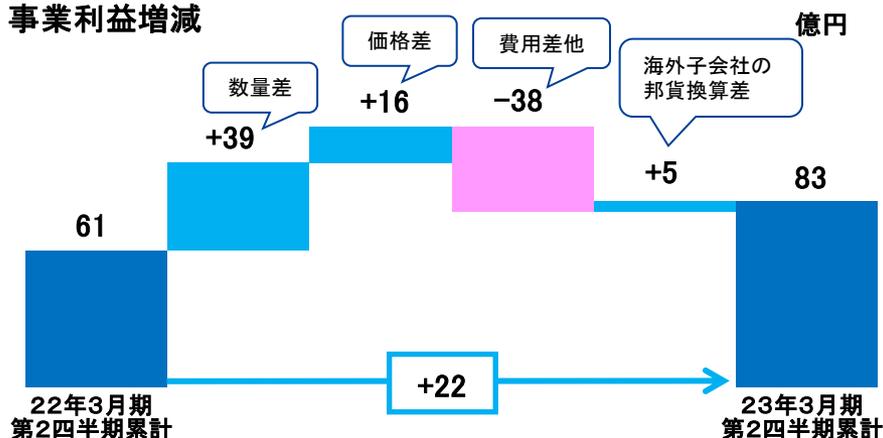
	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	202	20%	257	18%	+27%
スポーツ	122	12%	197	14%	+61%
一般産業	665	67%	946	68%	+42%
合計	989		1,400		+41%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	161	178	+17 (+10.3%)
	国内	886	997	+111 (+12.5%)
	海外	201	313	+111 (+55.3%)
	修正	▲ 390	▲ 427	-37
	計	859	1,061	+202 (+23.5%)
事業利益	東レ	5	11	+7(+146.0%)
	国内	24	27	+4 (+15.2%)
	海外	34	47	+14 (+40.5%)
	修正	▲ 1	▲ 3	-2
	計	61	83	+22 (+35.8%)

事業利益増減



< 概況 >

■水処理事業

逆浸透膜などの需要が堅調に推移し、新たに稼働を開始した設備が業績に寄与。

■国内子会社

エンジニアリング子会社でリチウムイオン二次電池関連装置の出荷が増加。

<トピックス>

・ 22年7月：
中国の河北省保定市銀定荘下水処理場高度処理プラントに東レのUF膜モジュールが採用され、7月に稼働開始。同プラントは、31.5万m³/日の処理水量を誇り、UF膜法として中国最大級の下水高度処理プラント。

・ 22年9月：
インド国チェンナイ市に新たな水処理研究拠点を開設。水不足により水処理需要の急速な拡大が見込まれるインド市場において、東レが保有する水処理膜を応用した水処理分野の研究・技術開発を強化していく。

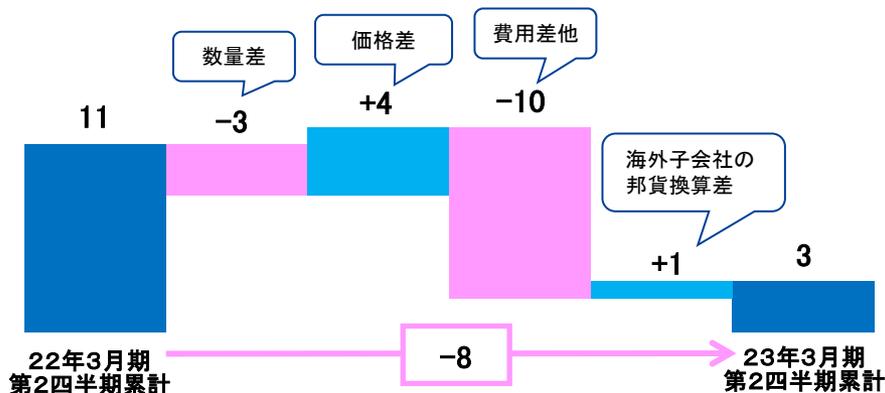
セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	114	120	+6 (+5.3%)
	国内	204	208	+4 (+2.0%)
	海外	60	81	+21 (+35.4%)
	修正	▲ 127	▲ 151	-23
	計	251	259	+8 (+3.1%)
事業利益	東レ	▲ 3	▲ 12	-9 (-)
	国内	12	9	-3 (-24.4%)
	海外	3	4	+1 (+35.3%)
	修正	▲ 1	2	+3
	計	11	3	-8 (-69.0%)

事業利益増減

億円



<概況>

■医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けた。

■医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けた。

*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。

<トピックス>

・22年9月発表:

臍(すい)がん患者血液中のアポリポ蛋白A2アイソフォーム濃度を測定する検査試薬を、体外診断用医薬品として厚生労働省へ製造販売承認申請を実施。

・22年9月発表:

東レが創製した経口プロスタサイクリン(PGI₂)誘導体徐放性製剤ベラプロストナトリウム徐放錠「Careload®」について、中国国家薬品监督管理局(NMPA)から、肺動脈性肺高血圧症に対する治療薬として承認を取得。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	22年3月期 第2累計四半期 (4~9月)	23年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レインターナショナル	2,733	3,265	+532	59	69	+9	
東レエンジニアリング	410	531	+121	11	21	+10	
東レ建設	167	146	-21	2	▲ 5	-7	
東レフィルム加工	189	205	+16	18	17	-1	
在東南アジア・子会社	繊維	615	868	+253	11	17	+7
	機能化成品	634	544	-90	126	▲ 13	-139
	その他	3	3	+0	0	0	+0
	計	1,252	1,415	+163	137	5	-132
在中国・子会社	繊維	1,245	1,554	+309	106	110	+5
	機能化成品	598	569	-29	34	49	+16
	その他	195	273	+79	18	27	+9
	計	2,038	2,396	+359	157	187	+30
在韩国・子会社	繊維	467	555	+87	26	▲ 9	-35
	機能化成品	774	702	-73	101	1	-100
	その他	157	210	+53	19	36	+17
	計	1,398	1,466	+68	146	28	-117

Ⅱ. 2023年3月期連結業績見通し

2023年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

内外経済は、原燃料価格の高騰によるインフレ圧力の増大や欧米を中心とする利上げ等により年内は減速していくと見られる。また、中国のゼロコロナ政策の継続や不動産市場の混乱が世界経済を下押しする可能性があるほか、部材や人手等の不足による供給制約、ウクライナ情勢の長期化、金融市場の混乱などが懸念材料として挙げられる。

億円

		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	増減	8/9公表値	8/9公表値 との差異
売上収益	上期	10,630	12,618	+1,988 (+18.7%)	12,500	+118
	下期	11,655	13,382	+1,727 (+14.8%)	13,750	-368
	通期	22,285	26,000	+3,715 (+16.7%)	26,250	-250
事業利益	上期	702	544	-158 (-22.5%)	600	-56
	下期	619	756	+137 (+22.1%)	800	-44
	通期	1,321	1,300	-21 (-1.6%)	1,400	-100
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	609	591	-18 (-3.0%)	580	+11
	下期	233	359	+126 (+54.0%)	420	-61
	通期	842	950	+108 (+12.8%)	1,000	-50
基本的1株当たり 当期利益	上期	38.06 円	36.92 円			
	下期	14.56 円	22.42 円			
	通期	52.63 円	59.34 円			
1株当たり配当金	上期	8.00 円	9.00 円			
	下期	8.00 円	9.00 円			
	通期	16.00 円	18.00 円			
配当性向	通期	30%	30%			

為替レート的前提
(10月以降)
135円/US\$

セグメント別連結業績見通し

億円

		22年3月期実績			23年3月期見通し			増減			8/9公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	4,015	4,347	8,362	5,090	5,080	10,170	+1,075	+733	+1,808	+190	+70	+260
	機能化成品	4,445	4,655	9,100	4,733	5,217	9,950	+288	+562	+850	-157	-413	-570
	炭素繊維複合材料	989	1,163	2,152	1,400	1,420	2,820	+410	+257	+668	+50	-10	+40
	環境・エンジニアリング	859	1,134	1,993	1,061	1,289	2,350	+202	+156	+357	+31	-11	+20
	ライフサイエンス	251	269	520	259	291	550	+8	+23	+30	-1	+1	—
	その他	70	89	159	75	85	160	+5	-4	+1	+5	-5	—
	合計	10,630	11,655	22,285	12,618	13,382	26,000	+1,988	+1,727	+3,715	+118	-368	-250
事業利益	繊維	243	179	422	239	301	540	-4	+123	+118	-1	+11	+10
	機能化成品	522	387	910	251	399	650	-272	+12	-260	-89	-96	-185
	炭素繊維複合材料	▲ 36	52	16	56	84	140	+92	+32	+124	+1	+14	+15
	環境・エンジニアリング	61	105	165	83	142	225	+22	+38	+60	+13	+17	+30
	ライフサイエンス	11	3	14	3	2	5	-8	-1	-9	+3	+2	+5
	その他	7	23	30	10	10	20	+3	-13	-10	+10	-0	+10
	調整額	▲ 107	▲ 129	▲ 236	▲ 98	▲ 182	▲ 280	+9	-53	-44	+7	+8	+15
	合計	702	619	1,321	544	756	1,300	-158	+137	-21	-56	-44	-100

セグメント別事業利益の8月9日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 8/9公表値→今回見直し ()内差異	増減益要因
繊維	530 → 540 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、アウトドア・スポーツウェア用途等の需要は堅調に推移すると見込む。 ・原燃料価格及び運輸費高騰の影響を受けるが、引き続き価格転嫁とコスト削減を推進する。
機能化成品	835 → 650 (-185)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業は、ABS樹脂が中国需要低迷の影響を受け、販売量・スプレッドが縮小し、減益を見込む。 ・フィルム事業、電子情報材料事業では、ディスプレイ市況悪化の影響による顧客の在庫調整局面が3Qまで続く見通し。
炭素繊維 複合材料	125 → 140 (+15)	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州子会社で用役費の影響が悪化する一方、事業全体での為替差、原料価格差の改善を織り込む。 ・航空機用途での、大手顧客生産機数の回復影響を一部織り込む。
環境・ エンジニアリング	195 → 225 (+30)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業では、一部地域で景気後退、経済活動の減退により出荷減となるが、中東の大型案件が堅調に進捗する見通し。また、為替変動の影響もあり増益の見通し。
ライフサイエンス	0 → 5 (+5)	<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料価格高騰の影響を受けるが、透析装置の増販、固定費削減を推進する。
その他	10 → 20 (+10)	
調整額	▲295 → ▲280 (+15)	
合計	1,400 → 1,300 (-100)	

Ⅲ. 参考資料

セグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
繊維	1,842	2,174	2,301	2,046	8,362	2,258	2,832
機能化成品	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450	2,283
炭素繊維複合材料	485	504	542	620	2,152	686	714
環境・エンジニアリング	437	422	487	647	1,993	507	553
ライフサイエンス	115	136	135	134	520	123	136
その他	32	38	38	51	159	34	41
合計	5,137	5,493	5,839	5,817	22,285	6,059	6,559

セグメント別四半期事業利益推移

億円

	22年3月期					23年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
繊維	118	126	111	67	422	87	152
機能化成品	279	243	224	163	910	169	82
炭素繊維複合材料	▲ 21	▲ 16	17	35	16	24	32
環境・エンジニアリング	34	27	48	57	165	35	48
ライフサイエンス	2	9	5	▲ 2	14	1	3
その他	2	5	8	15	30	4	7
調整額	▲ 53	▲ 54	▲ 55	▲ 74	▲ 236	▲ 48	▲ 50
合計	361	341	358	261	1,321	271	273

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
樹脂・ケミカル	1,045	1,044	1,101	1,069	4,259	1,087	1,036
フィルム	832	831	841	847	3,350	886	816
電子情報材料	193	192	194	162	741	158	131
商事他	1,286	1,247	1,393	1,378	5,303	1,503	1,404
修正	▲ 1,131	▲ 1,095	▲ 1,192	▲ 1,136	▲ 4,554	▲ 1,184	▲ 1,105
合計	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450	2,283

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
航空宇宙	95	106	110	116	427	124	133
スポーツ	61	62	73	83	279	95	102
一般産業	329	336	359	421	1,447	468	478
合計	485	504	542	620	2,152	686	714

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	
東レインターナショナル	1,292	1,441	1,600	1,370	5,703	1,506	1,759	
東レエンジニアリング	223	187	217	339	966	238	293	
東レ建設	73	94	115	140	423	74	73	
東レフィルム加工	93	95	101	96	386	104	101	
在東南アジア・ 子会社	繊維	299	316	332	364	1,312	404	464
	機能化成品	322	312	316	312	1,261	291	253
	その他	2	1	1	1	6	2	2
	計	623	629	649	677	2,579	696	719
在中国・ 子会社	繊維	556	689	630	466	2,341	641	913
	機能化成品	294	304	332	276	1,206	302	267
	その他	99	95	126	99	420	134	139
	計	949	1,088	1,088	842	3,967	1,077	1,320
在韩国・ 子会社	繊維	231	236	274	259	1,000	278	277
	機能化成品	395	379	396	386	1,556	381	321
	その他	80	77	101	89	347	104	106
	計	706	692	771	734	2,903	762	704

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	
東レインターナショナル	27	33	35	28	122	29	39	
東レエンジニアリング	11	0	12	25	47	8	13	
東レ建設	▲ 1	3	3	8	14	▲ 3	▲ 2	
東レフィルム加工	10	8	11	9	38	11	6	
在東南アジア・ 子会社	繊維	3	8	1	3	15	4	14
	機能化成品	73	53	41	25	192	7	▲ 21
	その他	0	0	0	▲ 0	0	0	0
	計	76	61	42	28	207	11	▲ 7
在中国・ 子会社	繊維	48	57	38	23	166	44	66
	機能化成品	16	18	23	24	80	24	25
	その他	8	9	12	5	34	15	12
	計	72	85	72	51	281	84	103
在韩国・ 子会社	繊維	16	9	10	▲ 5	31	▲ 6	▲ 4
	機能化成品	54	47	33	12	146	14	▲ 13
	その他	9	10	13	10	42	17	19
	計	79	66	56	18	219	26	2

ESGに関する社外からの評価

■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2022年2月

Sustainability Yearbook

Member 2022

S&P Global

■ CDP

2021年12月



WATER

Water Security: A
Climate Change: B

■ MSCI

2021年9月

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2021年11月

「Dow Jones Sustainability
Index(DJSI)」のAsia Pacific

2022 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2022年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2022年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry